

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」（ボラサポ・台風21号）
第2回助成決定にあたって

はじめに

平成30年9月4日に日本に上陸した台風21号は、近畿地方を中心に大きな被害をもたらしました。

台風21号および、前線等に伴う大雨などの影響により、お亡くなりになりました方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災した2府では、14か所の災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等による、救援・復旧・復興のための支援活動が行われました。

現在でも台風21号の被災地では屋根のブルーシート張りなどの支援活動が継続しており、今後も被災者の方に寄り添い、ニーズを確認し支援活動を続けていく必要性が見受けられます。そのため、被災した各地でボランティア活動を行うボランティアグループやNPO等を支えるために、資金面のサポートが必要とされていました。

この状況を受け、中央共同募金会では、「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」（ボラサポ・台風21号）第2回助成応募受付を開始し、各地でボランティア活動を行うボランティアグループやNPO等を資金面で支援し、被災地と被災者を支える活動に助成を実施することとしました。

1. 第2回応募状況と助成決定状況

第2回助成の応募は、1月24日より受付を開始し、2月24日の応募締切までに9件、合計1,658万円の応募がありました。

本助成に応募された団体は、今回被災された地域で、中心的にボランティア活動や市民活動を支えるために活動を行っている団体や、被災地域の社会福祉協議会、過去にボラサポの助成を受け、被災地での支援活動の実績をもつ団体でした。

また、大阪府北部地震や、平成30年7月豪雨災害の被災地において支援活動を行っている団体も含まれていました。

応募された活動内容は、ボランティア受け入れのためのボランティアセンター運営のための活動や、被災された住宅の応急処置、家屋の復旧作業などでした。

3月26日にボラサポ・台風21号の第2回運営審査委員会（以下委員会）を開催し、応募のあった活動内容、経費について審査を行いました。委員会では、応募要項に記載した「審査にあたって重視する点」に沿って審査を行いました。

協議では、公費との切り分け、他の助成事業との切り分けや他の応募団体と比較して均衡を失っていないかなどの点について議論が行われ、第2回助成事業で助成を行う団体を決定いたしました。その結果、応募のあった9件のうち7件、合計1,217万円の助成が決定しました。

2. 今後の予定について

台風 21 号の被災地は、現在も経済的な理由や業者の不足等が原因で、損壊した屋根などにビニールシートで応急処置をしたままの状態でおられる方が多く存在します。そのためボラサポ台風 21 号でいただいた寄付は、こうした被災地の継続的な支援ニーズを調査し、その実態を明らかにして今後の支援につなげていく予定です。

最後となりましたが、本助成事業は、平成 30 年 9 月 6 日から募集をはじめた「台風 21 号災害、北海道胆振東部地震災害にともなうボラサポ（災害ボランティア・NPO 活動サポート募金）」へのご寄付を財源として実施しています。

ボラサポへご理解、ご支援をいただいた多くのみなさまへ、深く感謝申し上げますとともに、今回、助成が決定した団体の皆さまにおかれては、寄付者の方がたから託された貴重な財源による助成であることを理解いただき、被災地の復旧・復興支援活動を通じ、被災された方々の支えとなる活動をしてくださることを期待しています。

災害ボランティア・NPO 活動サポート募金
運営・審査委員会 委員長 山崎 美貴子